



～季節の花便り～

ススキのお化け!?

「パンパスグラス」の花穂が開花!

について



平成 19 年 8 月 27 日撮影

謹啓 晩夏の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、酷暑であった今年の夏も、お盆を過ぎて朝夕には涼しい風が吹き始め、秋の気配を感じるようになりました。国営ひたち海浜公園でも、秋の訪れを告げる「パンパスグラス」が、風にそよぎながら太陽の日差しを浴びて光り輝く花穂を付け始めましたのでご案内いたします。

パンパスグラスの高さは大人の背を優に超えてなんと約4m。まるで“ススキのお化け”のような見上げる迫力はまさに圧巻です。これから秋にかけて、草原に点在するパンパスグラスと涼やかな空とが割り出す雄大な景観をお楽しみいただけます。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。

謹白

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

パンパスグラス

(イネ科コルタデリア属の多年草)

学名：Cortaderia argenta STARF

英名：pampas glass

和名：シロガネヨシ(明治中期 1890年頃日本に渡来)

原産地：南米(ブラジル・アルゼンチン)

開花：8月下旬～10月上旬(見頃は9月上旬～10月下旬)

茂みを作る常緑のイネ科植物。
晩夏に銀白色の羽毛状の円錐花序
(花穂)を付けます。

花穂の見頃は9月上旬頃から10
月上旬頃まで。高さは1mから3m
に達し、大きなものは6mにも及び
ます。花穂は切花としても好んで用
いられるため、日本各地で栽培され
ています。

名前の由来は、英名で南米の大草
原(パンパス)に生えている草(グ
ラス)という意味で、広々とした草
原に群生する様はととても壮観です。

花言葉は“光輝”。太陽に照らされ
て光り輝く花穂は、本格的な秋の到
来を期待させます。

(写真は平成19年8月21日撮影)



【園内でパンパスグラスを見ることができる場所】

サイクリングコース第3サークル

“ススキのおばけ”のようなパンパスグ
ラスの間を、秋風を感じながらサイクリ
ングをして楽しむこともできます。

面積：580㎡(サークル面積)

株数：10箇所40株



大草原北東側

大草原に生えるパンパスグラスの
中には、桃色の花穂を出す「桃色パ
ンパス」という種類もあり、銀白色の
パンパスグラスに一週間程遅れて
花穂を付けます。

株数：49箇所196株